

和田進然 わだしんぜん 僧侶。嘉永六年九月尾張國布袋生れ、大正七年一月二十八日歿（一八五三—一九一八）。諱法空。號界中山人、龍山人。舊名岩田與三次郎。末慶寺和田進止の養子となり、明治十二年後あとと承けし住職。十九年總本山禪林寺に入り、永く宗政に參與。三十年頃各京有志と興隆佛法會を興し、機關誌『鍾隆』を創刊。

これより襄 まは、大津事件の折の愛國婦人富山勇子を埋葬した寺の住職としてその顕彰に盡力、最初の『富山勇子傳』（明治二十五年刊）を出版した。また勇子の義心を海外に傳へた小泉八雲、モラエスとも交渉を有つたといふ。